

L A S - E 判定結果について

2006 年 12 月 20 日

L A S - E 判定委員会

寺西 信一
山本 武

杉本 裕明

佐藤 徹

1. 申請自治体

北海道士幌町

2. 申請類型区分

エコアクション(環境活動)部門 第1ステージ

エコマネジメント(環境経営)部門 第1ステージ

エコガバナンス(環境自治)部門 第1ステージ

3. 点検の対象となった期間

平成18年度(第一期目)

4. 合否判定結果

判定委員会において上記類型区分についてL A S - E規格に準拠しているかどうかを討議した結果、貴自治体の独自目標に関する取組については次のように判定されました。

エコアクション(環境活動)部門 第1ステージ	合格
エコマネジメント(環境経営)部門 第1ステージ	合格
エコガバナンス(環境自治)部門 第1ステージ	合格

なお、総合的な所見および個別所見につきましては、別紙で通知いたします。

総合所見

＜全般評価＞

- ・ 監査はおおむね妥当に行われており、3 部門とも合格のレベルに達していると判定されます。キックオフ宣言から 1 年以上取り組みを続けられてきたわけですが、今回町内のほぼ全ての公共施設において、住民とともに初めての監査が実施されたことの意義は大きいといえます。様々な面で前例となる他の LAS-E 運用自治体とは異なる土幌町特有の事情があり、苦勞されたと思われますが、地域の特性を生かしたモデルとなる取り組みを確立されることを期待します。

＜良かった点＞

- ・ LAS-E の監査では住民の視点で監査を行う点に特徴がありますが、住民の皆さんが行政組織内部をつぶさに見て回ったのは恐らく今回が初めてではないでしょうか。この意義は非常に大きいと思われます。

個別所見

＜環境マネジメントシステム推進組織に対する所見＞

- ・ 今回の監査では、小中学校は外部常駐者扱いでした。地域の将来を担う子供達への環境教育や熱心に取り組まれていた保育所等からの一貫性の保持といった意味から、是非、小中学校も他の施設と同様の取り組み・監査を実施されるようご検討下さい。
- ・ LAS-E の最大の特徴はエコガバナンス部門、すなわち住民参加に焦点をあててどのような工夫をしているかという部分にあると言えます。したがって単に情報が公開されていれば良いのではなく、それが理解され、市民に何らかの反応（市民の行動様式の変化、市民参画事業の実施や活性化など）がみられるのかなど、これを手がかりにして、さらに一歩進んだ取り組みを期待します。
- ・ 同様に、特定の部署のみからの情報発信、住民参加だけではなく、支所や各部署単位での情報発信、住民参加を強化していくことが、今後の課題と思われます。

＜環境監査チームに対する所見＞

- ・ LAS-E に沿った取り組みを進めていくことは、被監査組織が環境自治体としてのステップアップを図っていくためのラーニング（学習）プロセスといえます。監査を行うことは、ステップアップの手助けをするものと捉えて、今後も意欲的かつ柔軟な監査を希望します。